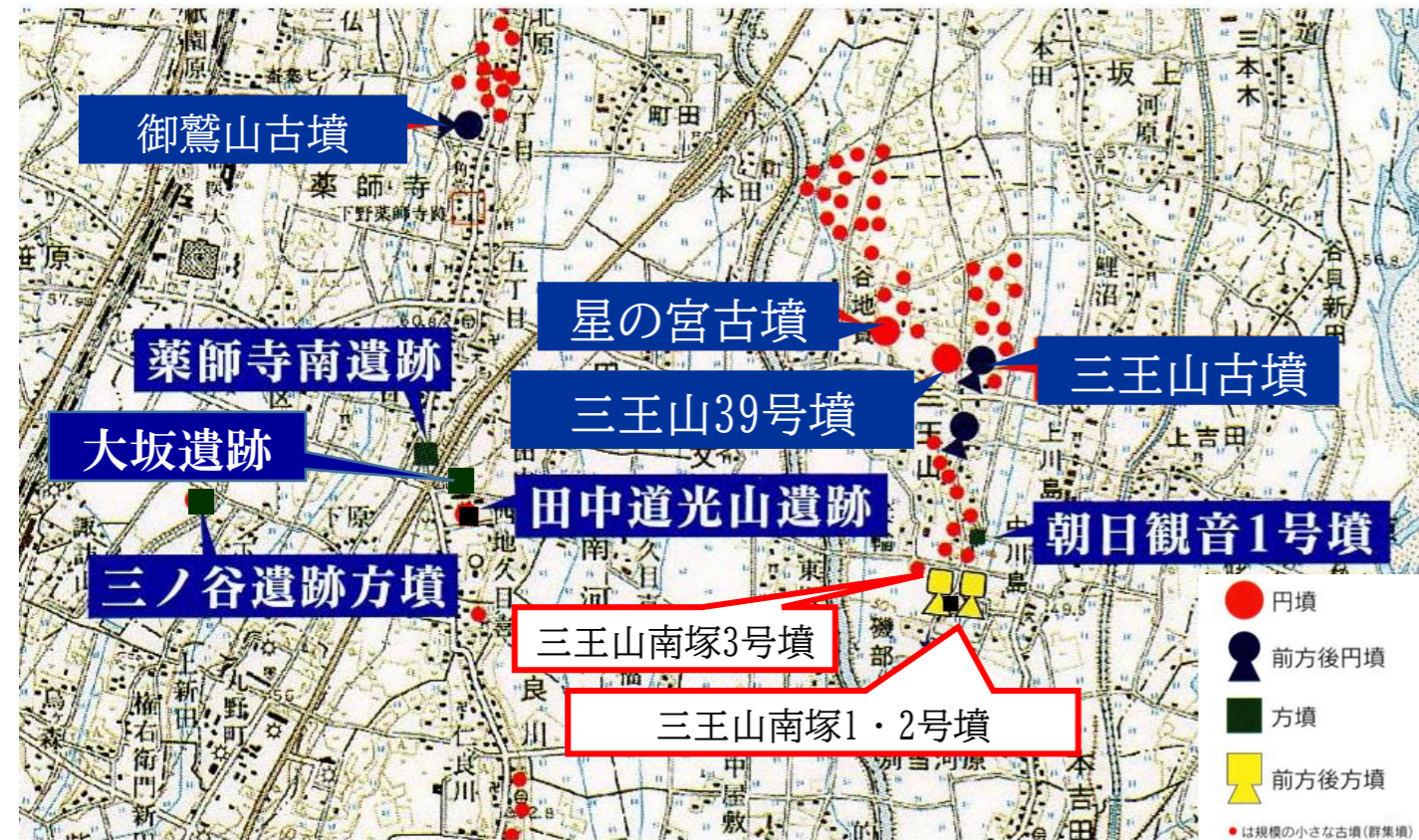
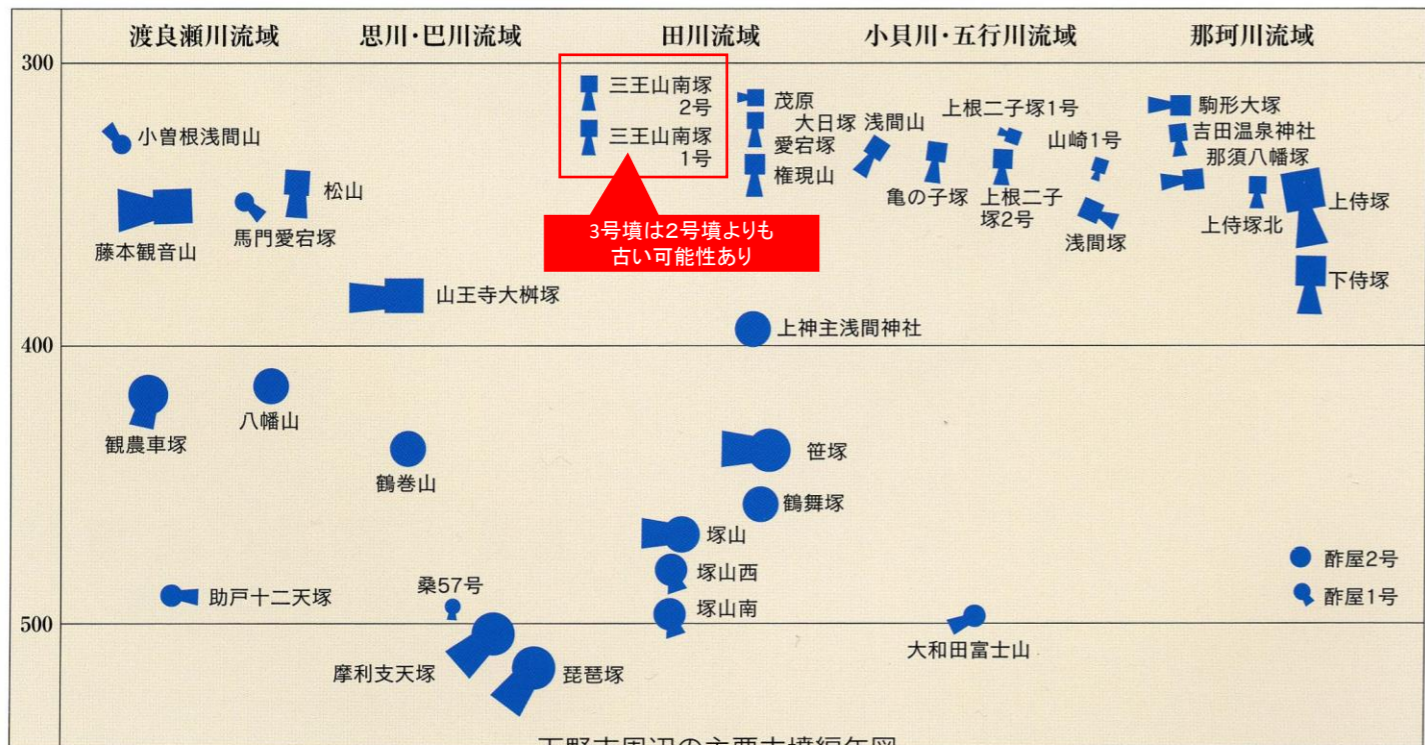


【周辺の前期古墳との関係】

これまでの調査で、古墳時代前期の下野市域には、三王山南塚古墳を首長墓とする三王遺跡の存在が明らかにされてきました。最近の調査によって、田川の西岸に田中道光山遺跡（古墳群）を首長墓とする大坂遺跡が存在したことがわかりました。2つの集団がどのような関係にあったのかについては、今後の調査で明らかにしていきたいと思ひます。



下野市周辺の古墳分布図 『下野市周辺の古墳群Ⅱ』下野市教育委員会より転用



下野市周辺の主要古墳編年図 『下野市周辺の古墳群Ⅱ』下野市教育委員会より転用

三王山南塚古墳群3次調査
発掘調査現地説明会資料 (2024. 3 18)
編集・発行 下野市教育委員会事務局 文化財課
〒329-0492 栃木県下野市笹原26
Tel 0285-32-8919
E-mail bunkazai@city.shimotsuke.lg.jp



東の飛鳥プロジェクト
下野市では、歴史・文化を活用したまちづくりに取り組んでいます。

2024.03.17 現地説明会資料

さんのうやまみなみづかこふんぐん

三王山南塚古墳群 第3次調査

—遺跡の範囲確認のための発掘調査—

【三王山南塚古墳群の概要】

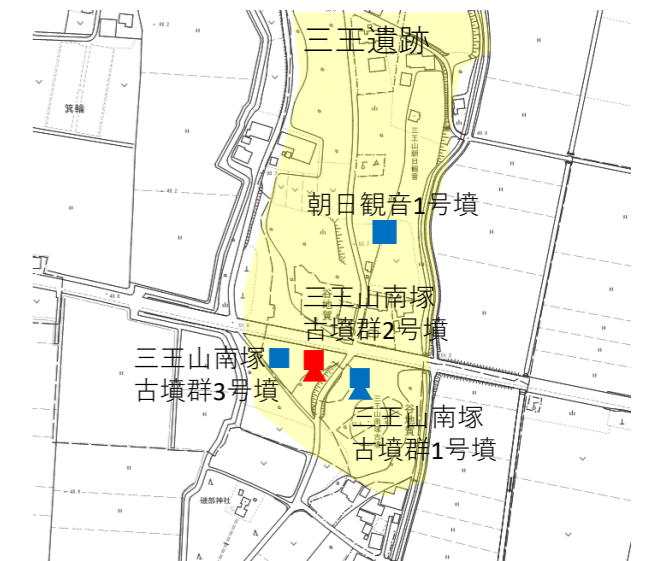
三王山南塚古墳群は、南北に長い台地の南端に所在します。この台地上には、古墳時代前期と後期の古墳が80基以上点在していることが確認されています。

これまでの調査では、弥生時代後期から古墳時代前期の集落(三王遺跡)と三王山南塚古墳群1・2号墳、朝日観音1号墳などの前期古墳が確認されています。

調査により、弥生時代後期の集落が形成された後、3世紀末～4世紀初頭に前方後方墳である南塚2号墳、1号墳の順に築造されたことが明らかになっていました。

南塚古墳群2号墳が県内最古級の古墳である可能性が高いことから、県南地域における弥生から古墳時代への変革期の様子を知ることができる重要な遺跡と考えられ、令和3年度より実態解明に向け、古墳の築造年代や古墳周囲の土地の利用形態を確認するための調査を開始しました。

3次調査は、南塚古墳群2号墳の再調査を実施しました。

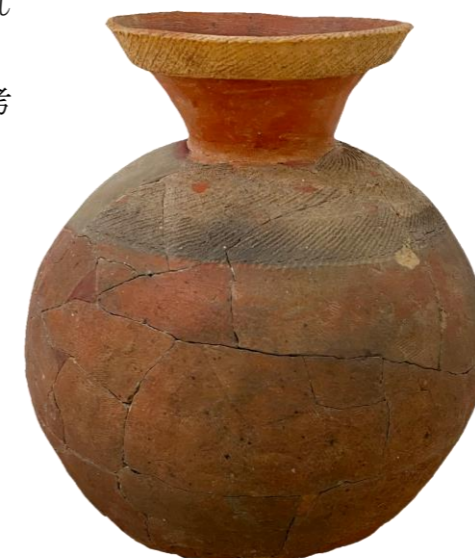


【三王山南塚古墳群2号墳調査概要】

2号墳は平成元年に南河内町史編さん事業の一環として調査を実施しています。

前方部を南に向けた全長約50mの前方後方墳で、周溝の形・深さは不定形です。

火山灰(浅間C軽石?)が堆積する堅穴建物の後に古墳が造られていること、出土遺物の年代などから、3世紀末～4世紀初に造られた栃木県内最古級の古墳の一つであると考えられています。



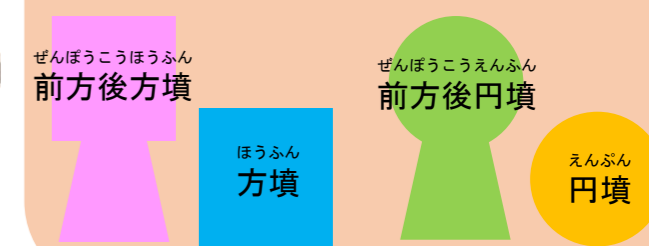
2号墳の出土遺物
平成元年度の調査で周溝から出土。折り返し口縁の赤く塗られた大型の壺。口縁部と肩部に縄文が施文されているのが特徴的。

遺跡名	墳形	大きさ
三王山南塚古墳群1号墳	前方後方墳	全長46m
三王山南塚古墳群2号墳	前方後方墳	全長50m
三王山南塚古墳群3号墳	方墳	東西14m 南北15m
朝日観音1号墳	方墳	1辺15m

古墳群を構成する主な古墳

古墳の形からわかること

栃木県では、古墳時代前期(3世紀末～4世紀)に前方後方墳や方墳が造られました。その後、古墳時代中期(5世紀)以降になって、前方後円墳や円墳が登場します。



えんぶん
円墳

三王山南塚古墳群第3次調査全体図

【第3次調査概要】

これまでの調査で、3号墳が2号墳より古い可能性があることが判明し、両者の関係性を明らかにするために調査を実施しました。

令和5年度の2号墳の調査でも3号墳と同様に周溝の外周を掘削し、一段下げている可能性があることが判明しました。2号墳の東側に所在する1号墳の東側一帯に平坦面が広がることから、3基の古墳の築造に伴い、東西130m、南北80m（約10,000㎡）の範囲を掘削していた可能性が想定されます。

今回の調査によって、約50m規模の墳丘の築造とともに周囲の地形を改変した可能性が高いことが明らかになりました。古墳時代前期の北関東地域では、金属製の工具はあまり用いられていなかったと考えられることから、この規模の土木工事を行うためには大規模な動員が必要であったと考えられます。

こうした背景として、弥生時代に未発達だった階層性が進展し、この時期に強大なリーダー層が誕生したことが考えられます。



【3号墳の調査概要】

令和3年度より、古墳の保存を目的として、築造年代や古墳周囲の土地の利用形態を解明するための調査を開始しました。

令和3・4年度の第1・2次調査により、3号墳は墳丘に盛土がない可能性があり、周溝の外側を掘削し、一段低くしているために墳丘が高く見えることが明らかになりました。

年代を決定できる遺物は出土していませんが、出現期の古墳の特徴を持つことや2号墳の周溝との関係性から、3号墳が最も古い可能性があることがわかりました。



3号墳の墳丘と周溝(東から)



第1トレンチ
後方部の墳丘断割り状況(西から)



第2トレンチ
後方部の東側周溝の確認状況(東から)



第3トレンチ
前方部の東側周溝の確認状況(東から)

台地に平坦面が広がる(一標高53.3m)